神門通り線2工区 工事かわら版

13号

令和8年11月20日

令和8年度上期に実施した工事内容をご報告します！

工事の内容
令和８年２月～

令和７年12月21日(日)に新しい宇迦橋が開通してから現在まで、神門通り線2工区全体の完成を目指して様々な工事を進めてきました。

仮桟橋と仮橋取り外し

宇迦橋の架け替え工事のために架けていた仮桟橋と仮橋を取り外しました。



仮桟橋の撤去工事▶

護岸の工事



護岸って何？
裏面で詳しく解説しています！

Pick up!

歩道照明の配管工事

歩行者が夜でも安全に歩けるように、歩道に照明を設置します。
この工事では、照明に電気を送るための電線を通す管(配管)を地下に埋める作業を行いました。



歩道照明の配管工事▲

道路側溝を設置する工事

道路の排水溝を「道路側溝」といいます。
雨が降った時など、道路に水がたまらないように、道路側溝の設置を行いました。



道路側溝▶

歩道に照明を設置する工事

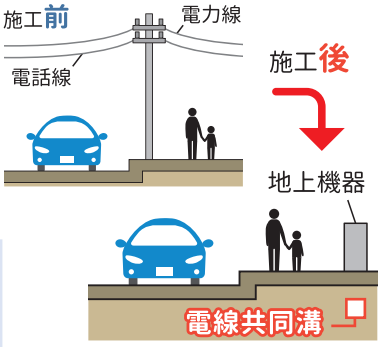
神門通り線１工区と同じデザインの照明を設置しました。
風格ある空間を演出するため、出雲地方でなじみの深い鋳鉄を用いています。落ち着いたグレーを基調としたデザインです。



照明施工▲

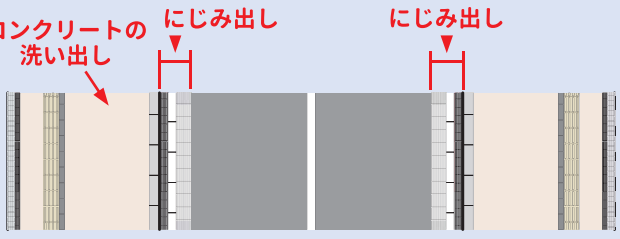
電線共同溝を設置する工事

地下に電気や光ケーブルの通り道をつくる管路を電線共同溝といいます。
快適な歩行空間の確保、松並木を活かした景観の向上、地震や台風などによる電柱倒壊・断線の防止を目的に、電線類の地中化を実施しています。



宇迦橋北側と南側の道路工事
※現在も進行中

南側は車道をアスファルト舗装にし、歩道は風合いのある骨材(砕石)を表面に露出させるコンクリート舗装を行います。





～令和８年11月

Pick up! 護岸の工事について詳しく解説します！

護岸って何？

護岸は、大雨が降った時に川が増水して、堤防や岸辺が水の流れで侵食されない（削られない）ために設置します。石やコンクリートのブロックで護岸が整備されることが多いですが、川の流れの速さが遅い場合などは、植生だけで整備されることもあります。



護岸工事ってどんなことをするの？

基礎（土台）の設置



護岸の土台となる基礎部分をコンクリートで作ります。



裏込材（砕石）の設置



護岸の裏側（川に面していない側）に貯まる地下水等を排水しやすくするために、護岸の裏側に砕石を設置します。

石積



河川や海岸などの岸が水の流れで削られないように、石を積み上げて保護します。

施工前





施工後





施工後の全景



令和８年７月時点の様子

出雲県土整備事務所 都市整備課からのメッセージ

昨年12月に宇迦橋が通行できるようになり、これまで仮橋などの撤去、宇迦橋の周辺の護岸整備、歩道照明の設置、道路排水整備を進めてきました。今後は、宇迦橋の北側の石畳舗装、南側のアスファルト舗装、電線類の地中化、電柱の撤去を行っていき、次年度中の完成を目指し、安全に工事を進めていきたいと考えています。地域の方々には片側通行などで引き続きご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

島根県出雲県土整備事務所 都市整備課 〒693-8511 島根県出雲市大津町1139 TEL：0853-30-5667 FAX：0853-30-5675